

## タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2022 助成の概要と推薦理由

助成番号 22-2-1

---

プロジェクト名 天井の先の宇宙—星空の下でつながろう  
団体名 一般社団法人星つむぎの村  
代表者名 高橋真理子、跡部浩一  
所在地 山梨県  
助成額 146万円  
助成期間 2022年6月1日～2023年5月31日  
設立年 2016年  
URL <https://hoshitsumugi.org/>



長期療養の子どもたちの多くは、本来であれば享受できる教育や文化、芸術に触れる機会が健常の子どもに比べると格段に少ない。またコロナ禍により、その機会がさらに減ったことで、子どもだけではなく、家族にとってもストレスの要因となっている。しかしこの現状は社会に表面化されておらず、支援が行き届いていないことも課題である。

この団体は、天文学や音楽の専門家などが集まり、出張プラネタリウムや星空観望会、星空コンサートなどの機会を通じて、星空に親しむことができるよう、様々な場所に「星や宇宙を届ける」活動に取り組んでいる。

前回の助成では、在宅療養しているこどもとその家族に「フライングプラネタリウム」\*を届け、日常生活では味わうことができない機会と経験を提供した。また住んでいる地域や病院、在宅を問わずにすべてのこどもが一緒に参加できるオンライン上の「星の寺子屋」を月に2回開催した。「星の寺子屋」ではこどもたちが主体的に学び、互いの交流を深める機会となった。

今回の継続助成では、引き続き「フライングプラネタリウム」を継続して実施するとともに、プラネタリウムの魅力を伝えるプロモーション動画を制作し、広報強化に努める。さらに「星の寺子屋」はオンラインだけではなく、オフラインの交流を目指し、本物の星空の下で集まる機会を提供する。

本助成を通じて、「フライングプラネタリウム」や「星の寺子屋」が継続した活動となるよう、資金調達も含め組織体制の強化に努めて欲しい。また「星の寺子屋」に参加したこどもたちにとって、オフラインの交流や経験がかけがえのない思い出となり、生きる力につながることを期待したい。

\*フライングプラネタリウムは団体の登録商標。インターネットを通じたライブ配信や事前に録画した動画を再生してプラネタリウムを体験することができ、離れた場所にいる人とも同じ空を共有することができる。